

第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和4(2022)年度の主な推進内容

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

基本的方向

魅力ある雇用を創出し、「しごと」と「ひと」の好循環を確立するため、企業誘致を推進するとともに、既存企業の成長を支援します。

また、創業や事業承継につながる取組を推進するとともに、豊かな自然環境や地域固有の資源を生かした農林業振興を図ります。

数値目標

		2018年度 基準値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	単位
有効求人倍率 (毎年3月)	目標値		1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	1.00以上を維持	倍
	実績値	1.24	1.12					

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する①

施策の方向性

(1)しごとと環境の創出

施策

1. 計画的な工業団地の整備
2. 企業誘致活動の推進
3. 雇用の確保と安定化
4. 創業・事業承継の促進
5. 魅力ある商店づくり

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
桐生武井西工業団地の 雇用者数【延べ】	目標値	/	225	250	275	300	320	人
	実績値	-	203					
創業支援等事業計画に 基づく創業者数	目標値	/	40	40	40	40	40	人
	実績値	27	34					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

○：継続事業 ●：新規・拡充事業

- 桐生武井西工業団地完売後の新たな工業団地整備に向けた県との具体的な協議の実施
- 豊かな水資源や自然環境など本市が持つ強みや魅力を生かした企業誘致活動の展開、立地企業への適切なフォローアップの実施
- 桐生公共職業安定所や桐生地区勤労対策協議会等と連携した「合同企業説明会」や「高校生就職ガイダンス」の実施
- 「中小企業人材養成事業」を継続するとともに、認定研修機関の拡充による利用を促進
- 桐生市インキュベーションオフィスを活用した創業支援、インキュベーションマネージャーによる創業相談・経営指導の実施、インキュベーションオフィスのより効果的な創業支援拠点としての方向性の検討
- 中心市街地における事業承継を伴う既存店舗の改修を補助する「まちなか店舗リニューアル・事業承継支援事業補助金」の新設
- 桐生商工会議所、桐生信用金庫、群馬県事業承継・引継ぎ支援センター、株式会社バトンズと連携した事業承継に関する支援の実施
- 「空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金」を活用した新規出店や創業の促進
- 商店街団体等が実施する地域での買物促進につなげる取組を支援する「地域店舗買物促進事業補助金」の新設



桐生武井西工業団地



桐生市インキュベーションオフィス



「事業承継スキルアップセミナー」の様子



基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する②

施策の方向性

(2)地域産業の活性化

施策

1. 市内企業の成長支援
2. 商品開発・販路開拓の支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
従業者1人当たりの製造 品出荷額	目標値		2,700	2,750	2,800	2,850	2,900	万円
	実績値	2,583 (2017年度)	2,436					
販路開拓支援による展 示会等における商談成 約件数	目標値		140	140	140	140	140	件
	実績値	114	51					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 工場アパートの維持管理や各種支援等を通じて入居企業の成長を促進
- ものづくりの現場を実際に見学・体験できるオープンファクトリーへの補助事業の新設、新規工房の開設支援を継続
- 国内外で開催される展示会への出展補助を継続するとともに、国際見本市「東京インターナショナルギフトショー」へのブース設置や「ビジネスマッチングフェア」の開催などを通じて国内外への販路開拓を支援
- 北関東産官学研究会の「産学官共同研究助成事業」や県と連携して新技術や新製品開発の経費の一部を補助する「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金」などを通じて市内企業の新製品・新技術の開発を支援
- 各繊維関連団体や桐生地域地場産業振興センターと連携した販路開拓や桐生ブランドの定着等の推進



工場アパート



ビジネスマッチングフェア



東京インターナショナル・ギフト・ショー



桐生テキスタイルプロモーションショー

基本目標 1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する③

施策の方向性

(3)農林業の活性化

施策

1. 農業の担い手の育成・確保
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化
3. 林業後継者の育成
4. 林業振興と林業生産基盤の整備

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
認定農業者数【延べ】	目標値	/	119	120	121	122	123	経営体
	実績値	117	123					
林業従事者数【延べ】	目標値	/	64	64	64	64	64	人
	実績値	64	51					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 国・県の補助金を積極的に活用し、新規就農者や親元就農者など担い手の確保・育成を推進
- 中間管理事業の制度活用を推進し、担い手農家等の経営規模拡大と農地の集約化に取り組み、農地利用の最適化を推進
- 国・県の補助金を積極的に活用し、野菜などを栽培するための施設・設備の設置を推進して生産拡大を図るとともに、法人化や6次産業化の支援を実施
- インターネットを活用した新里地域の旬な農産物の紹介など、新里町地域おこし協力隊の活動を通じた農業振興を推進
- 黒保根町地域おこし協力隊の活動拠点として旧黒保根共同調理場を利活用するとともに、地域の生産物を利用した加工品の開発等の活動を支援
- 交流人口の増加や将来的な林業就業者の増加に資する取組として、みどり市と連携した林業体験イベント等を実施
- 本市の豊富な森林資源の積極的な活用を推進するため、昨年度導入した低質材搬出利用補助制度に加え、保護具購入補助制度を創設



新里町地域おこし協力隊



旧黒保根共同調理場



桐生木材ヤード



基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

基本的方向

恒常的に続く若年層の流出に歯止めをかけるため、桐生がより多くの人から選ばれるまちになることを目指し、まちの価値を高めるシティブランディングを推進するとともに、桐生での暮らしを応援する様々な施策を講じます。

また、交流人口や関係人口の拡大による市内経済の活性化を目指し、本市の自然、文化、歴史、産業等の多様な観光資源を活用した観光施策を推進します。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
社会増減数	目標値		295	285	280	275	270	人減
	実績値	394	472					

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す①

施策の方向性

(1) シティブランディングの推進

施策

1. 理念・方針等の周知啓発
2. 推進体制の整備・活動支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
人口総数に対する転出者の割合	目標値		2.90	2.80	2.70	2.60	2.50	%
	実績値	3.02	2.87					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 令和3年4月に設置した広報監の業務を拡充し、助言・指導等をいただく中で、本市の魅力をもっと発信するとともに、活力豊かなまちづくりを推進
- 「住む人がまちのブランドをつくる」というシティブランディングの基本的な考え方にに基づき、広く浸透・理解を図るため、市民等が「まちの価値」を実感するためのセミナーやワークショップ、出前講座などを実施
- 地域への関心喚起や郷土愛の醸成を図るとともに、交流人口や関係人口の創出、ひいては定住人口の増加へつなげるため、若年層に対して桐生の魅力を訴求する「若者インフルエンサー魅力発信事業」などを実施



桐生市シティブランディング戦略



広報監セミナーの様子



桐生市と群馬大学社会情報学部との連携により、同学部に所属する学生達が作成した学生向けの情報冊子



学生団体Yieldが運用するInstagram「桐生CHARM」

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す②

施策の方向性

(2)移住・定住の促進

施策

1. 移住・定住の促進

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
移住・定住に関する相談 件数	目標値		172	172	172	172	172	件
	実績値	172	179					
空き家・空き地バンクの 成約件数	目標値		44	44	44	44	44	件
	実績値	44	41					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 市外への人口流出を抑制するとともに、市外からの移住・定住を促進し、人口減少対策の更なる強化を図るため、「住宅取得応援助成」を中心とする「きりゅう暮らし応援事業」を引き続き実施
- 「空き家・空き地バンク」の登録物件の動画配信を行うとともに、農地付き空き家など、雑誌やSNSなど各種メディアを活用し、桐生に暮らすことの魅力や移住支援に関する情報を発信
- 地域おこし協力隊の隊員希望者が一定の期間、協力隊の業務に従事して地域とのマッチングを図る「地域おこし協力隊インターン」を新たに導入するとともに、地域おこし協力隊の退任後の定住を促進するため、起業支援制度を創設
- 黒保根地域における移住・定住の促進や交流人口・関係人口の創出を図るため、ひまわり団地の未分譲区画（9区画）の販売促進強化を図るとともに、黒保根地域の地域資源を活かした移住体験ツアーを実施



空き家見学会



YouTube桐生市公式チャンネルにおける「空き家・空き地バンク」登録物件の紹介



黒保根町地域おこし協力隊

基本目標 2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す③

施策の方向性

(3)観光の振興

施策

1. 観光客誘致活動の推進
2. 観光拠点機能の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
観光入込客数	目標値		4,189,400	4,273,000	4,273,000	4,273,000	4,273,000	人
	実績値	4,078,400 (2017年度)	1,685,900					
観光消費額	目標値		4,994,711	5,094,605	5,196,497	5,300,426	5,406,434	千円
	実績値	4,849,234 (2017年度)	1,434,916					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- みどり市と共同で設置した「桐生・みどり周遊観光促進協議会」において実施するモニターツアーの成果を反映しながら、魅力的な周遊観光コースづくりを目指し、首都圏からの観光客の誘客を促進
- 前橋市をはじめとする赤城山周辺の自治体で連携し、赤城エリアの自然環境や農畜産物等の地域資源を楽しみながら周遊する「赤城山広域連携サイクルツーリズム事業」を引き続き実施
- 市内にある「日本遺産ーかかあ天下ぐんまの絹物語ー」の6件の構成文化財の周知・活用について、群馬県公式アプリ「きぬめぐり」を活用した桐生仕様のスタンプラリーや構成文化財を巡るバスツアーを実施するほか、小中学生（親子）を対象とした日本遺産講座を開催
- 本市と同様に日本遺産を有する館林市、足利市と連携してPRイベントを開催するとともに、八王子市と新たな連携について検討を実施
- 桐生市観光情報センター「シルクル桐生」を拠点として引き続き積極的な情報発信を実施するとともに、地域おこし協力隊を活用した特産品の販売とまちの魅力発信を実施
- 一般社団法人桐生観光物産協会や市民団体、周辺の商店街振興組合等と連携を図りながら共同事業を行うなどの公民連携による観光まちづくりを推進
- 桐生が岡遊園地に「ウォーターシューティングライド」、「カード迷路 ぐるり森大冒険」を新たに導入
- 桐生が岡動物園に新たに導入したレッサーパンダについて、写真や動画等を活用して魅力を発信
- 桐生が岡遊園地・動物園に市内事業者が企画・製造した商品を販売できる自動販売機を設置



桐生市観光情報センター「シルクル桐生」、地域おこし協力隊



桐生が岡動物園レッサーパンダ舎



ウォーターシューティングライド



動物園レッサーパンダ舎に設置されている自動販売機

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

基本的方向

少子化の流れに歯止めをかけるため、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を充実するとともに、安心して子育てができる環境を整備します。

また、桐生を好きな心豊かな子どもを育成するため、感性を育む特色ある教育の充実を図るとともに、学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる教育研究を推進します。

数値目標

		2018年度 基準値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	単位
合計特殊出生率	目標値		1.46	1.47	1.48	1.50	1.51	-
	実績値	1.13 (2017年度)	1.09					

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる①

施策の方向性

(1)結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実

施策

1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
市が支援する婚活イベント等におけるカップル成立数	目標値		29	30	31	32	33	組
	実績値	27	3					
産後1か月頃の母親が回答する「エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)」の結果が9点以上の母親の割合	目標値		調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	調査の都度低下	%
	実績値	3.6	5.8					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- より多くの出会いの場を提供できるよう、婚活イベント実施団体やお見合い実施団体への支援を行うとともに、各団体と横断的に連携し、効果的な事業の実施方法や周知方法の研究を実施
- 保育園等における3歳未満の子どもの「第3子以降保育料無料化」、3歳以上の子どもの「第3子以降副食費免除」のほか、小・中学校に通う児童生徒の「第3子以降給食費無償化」を継続
- ヤングケアラーの早期発見・早期支援につなげるため、「ヤングケアラー研修会」を新たに開催
- 多胎児を妊娠した妊婦の経済的負担を軽減するため、追加で受診する健康診査に係る費用の補助を新たに開始
- ペアレントメンターの活動を市民に広く周知するため、「ペアレントメンターキックオフ研修会」を新たに開催

あかちゃんがかきたかも…。
妊娠中どう過ごせばいい？
あかちゃんはかわいいけど、
なんだか疲れちゃった。
離乳食ははじめたけど、これで
いいの？
大きくなってきたけど、発達
が心配…。



子育て中の家庭

入園はまだけど同じくらい
の子と遊ばせたい…。
ほかのママはどんな子育てを
しているのかな？
保育園、幼稚園、認定こども
園は何が違うの？うちの
子はどこに入園できるのから？

相談

支援

子育て世代包括支援センター

母子保健係

母子保健コーディネーター 管理栄養士
地区担当保健師 歯科衛生士

- 母子健康手帳の交付
- 産前後のお母さんの不安や心配ごとの相談
- 母乳に関する相談 ○離乳食の相談
- 子どもの発育、発達の相談

子育て支援センター

利用者支援専門員
保育士

- 子育ての悩みや心配ごとの相談
- 保育園や幼稚園についての相談
- 子育て支援サービスの紹介

子ども家庭総合支援拠点

子育て相談係

保健師 保育士
相談員 公認心理士

- 子どもとその家族の不安や悩みの相談
- 支援が必要な子どもの継続的支援
- 虐待の対応
- 子どもの発達相談

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる②

施策の方向性

(2)安心して子育てができる環境整備

施策

1. 子育て支援サービスの充実
2. 青少年保護活動の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
1歳児を持つ母親への問診票の設問「育児は楽しいですか」に対し、「はい」と回答した母親の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	90.0	90.1					
ネット見守り活動委員会の会員数【延べ】	目標値		275	285	295	305	315	人
	実績値	275	277					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 保育施設への入園希望状況等を把握し、利用定員の確保や施設整備事業等を実施することによる保育環境の充実
- 放課後児童クラブの「第3子以降の保育料無料化」を継続
- ファミリーサポートセンター事業について、病児・病後児の預かりや早朝・夜間の預かりなど多様なニーズに対応できるよう、事業を引き続き推進するとともに、事業の担い手である協力会員を安定的に確保できるよう、協力会員募集の周知や講習会を実施
- 子育て支援センターを中心に各保育園等に配置されている地域子育て支援センターとの密な連携による保護者支援の充実
- 子育て世代の交流を図りながら、子育てに対する不安の解消を図るため、屋内遊戯場における各専門職による相談業務の充実
- SNSなどのトラブルから子どもたちを守るため、ネット見守り活動の更なる充実と早期からの情報モラル教育を推進



放課後児童クラブ



屋内遊戯場キピーランド



基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる③

施策の方向性

(3)特色ある教育の充実

施策

1. 桐生ならではの特色ある教育の充実
2. 学校・地域との連携の推進

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
学校評価アンケートの「特色ある教育活動」に関する設問に対し、「満足」と回答した保護者の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	87.0	89.0					
学校評価アンケートの「学校の授業の満足度」に関する設問に対し、「満足」と回答した児童・生徒の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	86.0	88.0					
放課後子供教室の設置数【延べ】	目標値		8	11	14	17	17	か所
	実績値	2	8					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 小学校に増員して配置したALTを活用し、幼稚園における英語に触れる時間や小学校での外国語活動等の一層の充実を推進
- サイエンスドクター事業において、プログラミングツールを活用した新たな取組を行うとともに、タブレットPCを活用したリモートによる学習を導入し、オンラインによる学習支援を実施
- 4月に開校した黒保根学園において、保育園を含めた一貫した教育計画により英語教育の一層の充実を図るとともに、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして地域と一体となった学校づくりを推進
- 子どもたちが『桐生で働き、桐生に住みたい!』と思える職業体験イベント「子どもがつくるまち ミニきりゅう」をより充実させて実施
- 放課後子供教室を新たに三つの小学校内へ設置し、計14校で実施
- 産官学民が連携して取り組む特別教育プログラム「未来創生塾」への支援を継続するとともに、令和2年度に拡充した未来創生プログラム基礎編の「MAYUを使った環境教育」について、より一層の活用を促進



サイエンスドクター事業



子どもがつくるまち ミニきりゅう



放課後子供教室



未来創生塾

基本目標 3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる④

施策の方向性

(4)教育研究・相談機能の充実

施策

1. 教育研究・研修の充実
2. 教育相談の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
各種研修講座のアンケートの「研修講座の満足度」に関する設問に対し、「満足」と回答した教職員の割合	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	%
	実績値	-	98.0					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 教職員の資質向上を図るため、新学習指導要領へ対応した指導の在り方に関する研究や、1人1台タブレット端末の効果的な活用方法に関する研究を実施
- 総合教育センターについて、教育庁舎としての機能をも有する中核的な教育拠点としての開設を目指すという方向性の下、令和6年度に予定されている市庁舎建設と連動しながら、設置場所の確定に向けた調整などの準備を推進
- いじめや不登校への対応等に向けて電話相談や来所相談、園・学校訪問等による教育相談を充実させるほか、オンライン授業についての研究を実施
- いじめ問題や虐待のほか、事故への対応等、学校で発生する様々な問題について、法的な視点を加えて課題を解決できるよう、学校が弁護士に相談できるスクールロイヤーを新たに配置



桐生市立教育研究所



基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

基本的方向

「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まち」の活性化を図るため、誰もが活躍でき、安全・安心に暮らすことのできる環境づくりを進めるとともに、コンパクトシティや歴史まちづくりなど、本市の特徴に応じたまちづくりを進めます。

また、広域的な視点で様々な分野において地域連携を推進し、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めます。

数値目標

		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
市民の声アンケートの設問「桐生市は住み続けたい生活の場としての住環境が整っている。」に対する市民実感度	目標値		—	調査の都度向上	—	調査の都度向上	—	%
	実績値	26.2 (2019年度)	—		—		—	

基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり①

施策の方向性

(1)安全・安心で住みやすい環境づくり

施策

1. 地域防災力の向上
2. 地域包括ケアの推進
3. 介護予防・重度化防止の推進
4. 生活習慣病予防の推進
5. 生活習慣病の重症化予防

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
防災に関する出前講座・講演会の参加者数	目標値		420	450	480	500	520	人
	実績値	400	42					
認知症サポーター数【延べ】	目標値		16,500	17,500	18,500	19,500	20,500	人
	実績値	14,545	16,658					
介護予防教室の参加者数	目標値		480	490	500	500	500	人
	実績値	463	267					
健康寿命（男性）	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	歳
	実績値	78.10 (2016年)	78.56 (2018年)					
健康寿命（女性）	目標値		調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	歳
	実績値	82.05 (2016年)	82.13 (2018年)					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- コロナ禍における指定避難所の収容人数減に対応するため、みどり市との避難所相互利用について調整を行うなど避難場所の確保に努めるとともに、引き続き地域や自主防災組織、避難所運営委員会等の活動を支援
- 防災アドバイザーを群馬大学理工学部広域首都圏防災研究センターに委託し、災害対策への助言や市民・職員向けの講演会等を実施
- 令和3年度に県の防災教育の指定を受けて行った学校における新たな避難訓練の在り方に関する研究と実践の更なる充実を推進
- 複雑化・多様化する地域福祉のニーズに適切かつ円滑に対応できる包括的相談体制の確立に向け、地域包括支援センターの相談支援機能強化を推進
- ウィズコロナの視点・手法を取り入れながら、サロンなど通いの場を拠点とする介護予防の取組及び地域の協議体や地域ケア会議などを通じた地域力強化の取組を推進
- 介護予防、健康寿命の延伸を図るため、サロン等の通いの場への専門職派遣などの取組を保健事業と介護予防事業の連携により推進
- きりゅう健康ポイント事業「100点チャレンジ」及び活動量計を用いたウォーキング教室の開催など‘歩く健康づくり’を推進
- 要介護状態になる前段階のフレイル状態に着目し、疾病予防や重症化予防と介護予防を一体的に展開
- 過去の健診結果や受診履歴等のデータ分析から対象者の特性を踏まえた、個別通知における特定健康診査の受診勧奨を行うとともに、新たに服薬適正化介入事業、生活習慣病重症化予防事業を実施し、生活習慣病の改善による疾病予防を推進



基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり②

施策の方向性

(2) 将来を見据えた計画的なまちづくり

施策

1. 持続可能な都市の形成
2. 中心市街地活性化の推進
3. 歴史まちづくりの整備
4. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進
5. 温暖化対策の推進
6. スポーツ施設の充実
7. 公共施設マネジメントの運営
8. 用途廃止後の施設の有効活用

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
中心市街地の空き店舗率	目標値		18.8	18.6	18.4	18.2	18.0	%
	実績値	19.0	19.8					
歴史的風致形成建造物の指定件数【延べ】	目標値		6	9	12	15	18	件
	実績値	3	8					
市の事務・事業から排出される温室効果ガスの排出量	目標値		33,508	33,164	32,819	32,475	32,130	t-CO ₂
	実績値	34,197	27,214					
公共施設等総合管理計画の類型別に策定する個別計画策定数【延べ】	目標値		23	23	23	23	23	計画
	実績値	0	0					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 持続可能な「まち」を形成するため、「桐生市コンパクトシティ計画」に基づき、都市機能と居住の誘導を推進
- 商店街団体等が実施する地域での買物促進につなげる取組を支援する「地域店舗買物促進事業補助金」の新設
- 桐生が岡動物園・遊園地とまちなかの相互間で人の流れを創出するため、美和神社・西宮神社から桐生新町重伝建地区周辺の整備等を推進
- 重伝建地区における伝統的建造物の計画的な保存修理を進めるため、修理計画作成のための事前調査を行うなど、建物所有者との調整を実施するとともに、地区の防災対策について、防災訓練を実施するなど、地元町会や自主防災会と連携した防災意識の向上を推進
- 重伝建地区への来訪者が町の魅力を実感でき、地区の交流拠点としての機能を果たす「(仮称)重伝建地区公開活用施設」の保存修理工事を実施
- 国際的な動向等を踏まえ、環境保全や温室効果ガス排出削減に努めるとともに、「桐生市環境先進都市将来構想」の実現を目指し“ゆっくりズムのまち桐生”の具現化などを推進
- 市民や市内企業の環境意識の高揚やエネルギーの効率的な利用促進のため、新エネ・省エネ施設や電動アシスト自転車の購入費用の一部補助を継続
- みどり市と公共施設のあり方について協議を進めながら、施設の具体的な管理の方向性を定める個別計画を施設類型別に策定
- 公共施設等総合管理計画に基づき、統合や廃止となる施設が増えていくことが見込まれることから、跡地利用の計画がない普通財産について、売却等を検討

→山手通り整備イメージ図



←重伝建地区公開活用施設完成イメージ図



←旧養護学校

基本目標 4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり③

施策の方向性

(3)地域連携の推進と交通基盤の整備

施策

1. 地域連携の推進
2. 北関東自動車道へのアクセス道路の整備
3. 幹線道路の整備
4. 鉄道利用の促進
5. バス交通網の充実

KPI (重要業績評価指標)		2018 年度 基準値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	単位
広域連携事業数	目標値		61	63	65	67	69	事業
	実績値	59 (2017年度)	64					
都市計画道路の整備率【延べ】	目標値		47.5	47.6	47.7	47.8	47.8	%
	実績値	47.2	47.7					
市内17駅の1日平均乗降者数	目標値		14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	人
	実績値	14,673	10,408					
人口1人当たりのバス交通の年間利用回数	目標値		3.55	3.55	3.55	3.55	3.55	回
	実績値	3.55	2.53					

R4 (2022) 年度の主な推進内容

- 「両毛広域都市圏整備研究会」等において、近隣自治体との広域行政の在り方について検討
- 第1期「桐生・みどり未来創生会議」で協議した観光、公共交通、防災をはじめとする各分野の連携事業を着実に推進するとともに、第2期の会議において、公共施設の在り方や広域観光など、両市が共通して抱える将来課題について市民委員とともに検討を実施
- 高速道路網を利用した首都圏や沿線地域との広域的な連携強化を図るため、北関東自動車道へのアクセス道路となる県道太田桐生線バイパス整備や渡良瀬幹線道路整備を推進
- 主要幹線道路である都市計画道路「赤岩線」などの整備を県と連携して推進
- 新型コロナウイルス感染症の影響で各路線とも利用者離れの状況にある中で安全・安心な運行を継続するため、それぞれの協議会等において必要な支援を行いながら、アフターコロナに向けての需要喚起を促進
- 3月にバリアフリー化が完成した新桐生駅がより多くの人に利用され、本市玄関口としての魅力と活力の向上につながるよう推進
- 3月に見直しを行った相生線の検証を行うとともに、他の路線についても鉄道との接続等を考慮し、随時見直しを実施
- スマートフォン等で路線別にバスの位置情報を確認できるバスロケーションシステムを新たに導入
- 桐生市独自の交通ビジョンの策定検討を実施



←桐生・みどり未来創生会議



←新桐生駅

